

日本財団「難病の子どもと家族を支えるプログラム」について

全国25万以上といわれる難病の子どもとその家族が孤立しない地域づくりを目指し、「医療」「福祉」「教育」「フィランソロピー」の4領域について、「医療的ケアが必要な小児に対応する訪問看護研修」「ICTを活用した退院・復学支援事業」「外出が困難な子どもと家族向け相談カーによる訪問」等、毎年30以上のモデルとなる事業を全国規模で展開。また、「難病の子どもと家族を支える地域連携ハブ拠点」として、これまで19の拠点開設支援を決定し、2020年までに全国に30拠点整備する予定です。

2018年4月、5月に開所予定の拠点

- ・4月1日（日）一般社団法人 Burano（茨城県古河市）
- ・4月15日（日）社会福祉法人 FLAT（千葉県白井市）
- ・4月21日（土）認定NPO法人 パンダハウス（福島県福島市）
- ・5月6日（日）NPO法人 くるみ（富山県新高岡市）

Buranoについて

営業時間：9：30～17：00（定休日：日曜日）

Buranoは、医療的ケア児のママたちが立ち上げた一般社団法人が運営する複合施設です。子どもたちの預ける場所がない、また社会との繋がりがないと感じていたママたちが、社会課題解決のために立ち上げました。建物は2017年春まで地元の住宅メーカーのオフィスとして利用されていた一軒家をリノベーションし、1階は多機能型デイサービス「titta」、2階はママのためのワークコミュニティ「kikka」として活用。1階と2階が大きな吹き抜けで繋がっていて、1階で遊ぶ子どもたちの様子がいつでも2階から見られるようになっています。ママたちも安心して、子どもたちを預けながら、2階で仕事に集中できます。